

2025東京都議会議員選挙並びに 第27回参议院議員通常選挙の取り組みを終えて

～ すべての組合員・ご家族、JT SU議員懇談会、連帯する仲間の皆さまへ ～

2025年6月22日、東京都議会議員選挙（以下、都議選）が投開票され、7月20日には第27回参议院議員通常選挙（以下、参院選）が投開票されました。

今回の、都議選ではJT SU議員懇談会から3名の推薦議員を擁立しました。その他1名の議員を支持し、参院選では議員懇談会から1名の推薦議員と議員懇談会から紹介を受けた3名の支持候補者を擁立し必勝に向けて取り組みました。結果は、都議選では西沢けいた氏、もり愛氏、三雲崇正氏、こまざき美紀氏、参院選では塩村文夏氏が当選を果たし、川田龍平氏と奥村政佳氏、小沼巧氏については惜敗となり、これまでの取り組みにご支援・ご協力、そして注目して頂いたすべての組合員・ご家族、JT SU議員懇談会、連帯する仲間の皆さまに心より感謝申し上げます。

今回の都議選・参院選の結果をもとに、改めて私たちの選挙に対する基本的な考えと特徴点について振り返ります。

JT SUは、首都圏の輸送サービス業で働く仲間を中心に結成しました。現在、公共交通機関で働く私たちを取り巻く情勢は、労働条件や環境、制度などに多くの課題が山積しています。これらを解決するためにJT SUは“職場の声”をもとにした労働政策を着実に作り上げていますが、これを実現させるためには、国政や地方議会において私たちの声や提言を届けることができ、共に行動する議員と連携・協力することが必要不可欠となります。ですから、選挙においてJT SUと政策協定確認書を交わした立候補者を応援する取り組みは、組合員・ご家族の利益を守るための重要な取り組みの一つであると考えます。この考えはJT SU結成以降一貫しており、今後も変わるものではありません。

今回の参院選での特徴点としては、予想されていた通り与党は参议院で過半数を割り込み、国民民主党と参政党が躍進しました。石破首相が勝敗ラインとしていた過半数を確保できず、石破政権にNOを突き付けた結果となりました。JT SUは比例代表に初の推薦候補者を擁立して取り組みました。都議選と参院選の日程が近かったため、短期間で集中した取り組みを展開せざるを得なくなりましたが、この間培われた経験を活かして職場から取り組みをつくり出していただき、各地方本部を拠点にした街頭宣伝活動を展開できたことは大きな教訓となりました。今後も各単組や地方本部と共に更なる連帯をつくり出すことを意識した活動を展開していきます。

JT SU結成から5年間で蓄積された組織の力は内外に広がっています。これは組合員・ご家族をはじめ、関係する全ての仲間と共に作り上げてきた成果です。この成果を10・15平和・未来フォーラムにつなげ、私たちJT SUは、すべての組合員・ご家族、JT SU議員懇談会、連帯する仲間の皆さまと共に未来を創造していきます。

都議選と参院選の取り組みに多大なるご支援・ご協力を頂きありがとうございました。

2025年8月16日
日本輸送サービス労働組合連合会